

土浦保健所感染症患者移送訓練を実施しました

土浦保健所感染症患者移送訓練を実施しました。

土浦市, 石岡市, かすみがうら市, 小美玉市消防からのべ 161 名の方にご参加いただきました

- ・第 1 回: 講義・防護服着脱訓練(139 名)
- ・第 2 回: 机上訓練・移送訓練(22 名)

<目的>

土浦保健所管内において MERS(中東呼吸器症候群)等の感染が疑われる患者が発生した場合に対応できるよう, 管内消防と共同で感染症の基礎知識や予防, 患者搬送への共通理解を図り, 患者を安全に医療機関へ搬送する体制を整備することを目的に実施しました。

<日時>

第 1 回: 講義「感染症の基礎について」, 防護服着脱演習: 令和 2 年 1 月 14 日(火), 1 月 15 日(水)

第 2 回: 感染症疑似症患者移乗訓練: 令和 2 年 2 月 6 日(木)

<場所> 第 1 回: 土浦市消防本部 第 2 回: 土浦保健所所内, 駐車場

<内容>

◆講義「感染症の基礎について」(土浦保健所保健指導課)

事前に土浦市消防本部から以来のあった内容について 30 分程度の講義を行いました。

(感染と発症, 職員の職業感染防止対策, 標準予防策, 感染経路別対策, 病原体と消毒, 問診事項, 体液暴露時の対応)

◆防護服着脱訓練

保健所職員によるデモンストレーションと同時に着脱訓練出席者が 2 名 1 組となり防護服着脱演習を実施しました(着脱方法は国立感染症研究所作成に準拠)。

◆感染症発生時の机上訓練

MERS 流行国でヒトコブラクダとの接触のあった検疫による健康監視対象者が発症した想定で, 保健所が医療機関へ移送するまでの流れについて, 口頭で説明し, 情報を共有しました。

◆移乗演習

患者移送用の車両を使用し, 保健所職員が患者を移送する想定で演習を実施しました。

ストレッチャーでの模擬患者搬送に関して, 消防隊員の方々によるデモンストレーションの後, 保健所職員が移乗訓練を行いました。

<訓練後のアンケート、感想など(抜粋)>

- ・コロナウイルス感染が話題になっている時期での訓練で、対応策等を聞くことができ、大変身になりました。
- ・感染症患者の搬送はいつあるかわからないので、予備知識を入れることは必要だと思います。
- ・連携を確認する意味で、定期的を実施するべきかと思います。
- ・どちらにも得意・不得意があります。「知識・訓練→保健所、実技指導→消防」この部分を今後も深めていければよいですね。
- ・このような訓練を通して、保健所と顔の見える関係を築いていければと思います。今日はありがとうございました。

2回の訓練を通して、管内市町村消防の方々との関係づくりができ、感染症への理解を深める有意義な機会となりました。

<当日の様子>

